



『上ノ国木工愛好会』 福島の子どもたちと木工教室！

3月30日、福島県から春休みを利用して8人の子供達が本町を訪れました。

この訪問は「子供たちを放射能から守る」を合言葉に福島県民が中心となって活動している福島ネットワークの呼び掛けに、上ノ国木工愛好会が応えたことで実現したものです。

上ノ国木工愛好会の皆さんと一緒に「糸のこ木工」を体験し、子ども達からは「おじさんたちに、やさしく教えてもらって本当に嬉しかった。」「嫌なこともあるけど、おじさんたちの『応援してるから』という言葉に励まされて、またがんばろうと思いました」と笑顔で語ってくれました。



春の林野火災会議

4月10日、役場研修室で春の林野火災予防対策連絡協議会が開催されました。

例年の山火事の多くは、入山者のタバコの不始末が原因となっており、その確認と一層の注意喚起を目的に毎年開かれているものです。

4月は山菜採りなどで山に入る人が多く、また空気も乾燥する時期でもあります。

去年の林野火災は皆さん一人一人がマナーを守り、注意した結果、幸いにありませんでした。

しかし、一度起きれば風の強い本町では大火事になる危険が強いので、これからも山での火の扱いには十分気をつけましょう。



上ノ国地区に 避難階段が完成

東日本大震災からの教訓により改めて津波対策が見直される中で、上ノ国漁港付近にも避難階段が完成しました。

これまで、上國寺前の入口から上ノ国漁港までの地域は急斜面を背にしているため、漁港に近づくほど逃げ場がない危険な状態でした。

この度完成した避難階段は入口と漁港の中間付近に建設されたことで、高台へ避難することが容易となりました。



鮭の稚魚を 放流しました

4月17日、まだ雪の残る神明の川辺で、湯ノ岱小学校児童4人が鮭の稚魚放流式に参加しました。

これは毎年、ひやま漁協上ノ国さけ定置網漁業部会が神明町内会の協力を得て、実施されている行事で、放流した稚魚が4年後戻ってくるように祈願祭を行なっています。

子供達はバケツに入れた鮭の稚魚をゆっくり優しく放流していました。

四年後、天の川を元気に登る姿が見られることを期待しています。